

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和4年 5月 19日

東員町議会

三宅耕三 様

東員町議会

川瀬孝代 印

研 修 報 告 書

研修期間	令和4年 5月 10日（火） ～ 5月 11日（水）【2日間】
研修（視察）先	茨城県日立市市役所・市議会事務局
目的（テーマ等）	鉄道に代わる公共交通システムについて
資料添付の有無	有 ・ ○無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1 [申し合わせ事項]:【委員会、全協：共通様式】

[氏名： 川瀬孝代]

研修概要、内容、所感

1 日目

日時 5月10日 14時から16時

場所 日立市議会事務局

研修事項 「鉄道に代わる公共交通システムについて」

参加者 議会議員全員（欠席1人）

都市建設部・都市政策課・議会事務局職員

内容 新交通導入事業（ひたちBRT）について

①日立市は、明治末期から鉱業、電気機械産業を中心に発展した。日立製作所の発祥の地として、銅製品電気機械など「ものづくり」のまちである。

②日立電鉄線は昭和2年に常北電気鉄道として設立され、平成17年に乗車人員の減少、施設の老朽化で廃線となる。

③平成20年に日立電鉄から寄付等により鉄道跡地を取得し、跡地活用整備基本計画を策定。平成23年に新交通導入計画を策定する。「主幹線道路で慢性的交通渋滞、公共交通の利便性低下、環境負荷の増大や産業活動への影響などがあり、交通渋滞の緩和や自動車交通に過度に依存しない新たな交通手段を確立した。

⑤「ひたちBRT」（バス高速交通機関）8.7kmを導入する

専用の走行空間と軌道が不要な一般道を走行可能、また定時制・速達性の確保、柔軟な運航ルート設定、安価な整備・維持管理費などメリットがある。

⑥ひたちBRTを日立市の新たなまちづくりの基軸として機能させ、交通機能の向上や沿線地域の活性化を図るなどのまちづくり計画へ取り組んでいる。

※ 事前質問事項の回答をしながらの説明となりました。

2 日目

日時 5月11日 9時から11時

場所 JR常陸多賀駅前からおさかなセンターまで

視察事項 「ひたちBRTの実証（乗車）」

内容 実際にBRTに乗車し運行ルートを確認

所感

東員町では、北勢線が新型コロナウイルス感染症の影響により事業収支の悪化で沿線市町の負担増が見込まれる、老朽化により電車機器の更新など経費が掛かること、赤字路線を支える余裕がない状況で課題となっています。地域の交通維持や交通網を考える議論が必要であると思います。注目されているBRT、道路事情の改善も見うけられましたが、新しい時代の選択肢の一つとして必要と感じました。日立市の職員皆さんの丁寧な対応に感謝いたします。有意義な視察研修となりました。